

かわにし創生総合戦略推進会議の意見

1. 全体への意見

- (1) 「情報発信が不足している」「市の魅力をPRする必要がある」といった指摘があるが、どうやったら効果的か、突っ込んで具体策を検討して欲しい。
- (2) 「市のイメージが良くない」などの意見について、なぜそう感じたか中身を共有することで、対策や解決に向けた検討がしやすくなる。
- (3) 市の取組みを考える上で、財政的なことを踏まえると、新たに行うものの提案だけでなく、既存事業を見直す、廃止するという提案も重要である。
- (4) まずは多くの提案を自由に出していると思うが、次に、優先順位をどうするのか、何を諦め、何を確実にやるのか、という議論が大切になる。
例：「新婚世帯家賃補助」は廃止して、夏休み中などの学童保育の開始時間を早める予算にあてる。
- (5) 市の総合計画にとらわれず、これからの3年間で川西市にとって重要な取組みを、自由に議論していく必要がある。必要があれば総合計画を見直す。
- (6) 5年10年先を見据えて目指す方向を明らかにし、それに沿って議論できるとよい。

2. 班ごとへの意見

【1班 産業の活性化】

- (1) 生産緑地が77ヘクタールあるが、耕作放棄地の増につながる可能性に注意が必要。
農業後継者の問題を議論して欲しい。
- (2) 「女性起業塾」は一見いいようだが、男性の起業は？夫婦で起業するときはどう？という疑問もあり、もっと幅広くやってはどうか。

【2班 子育て・教育の充実】

- (1) 第1次の総合戦略で「子育て中の女性が、仕事と育児の両立ができる環境を作る」などとなっているのは、<子育ては女性>を前提としており不適切。子育ては女性と決めつけた考えをまず改める必要がある。
- (2) 学童保育のあり方。
夏休み期間などの預かり開始時間が遅い。子どもを預けてから、就業開始時間に間に合うのは難しい。
- (3) PTAへの加入や活動の負担など、あり方を工夫する必要がある。

【3班 住宅都市としての魅力向上】

- (1) 「押し買い」被害が増えている。防災や防犯など、安全安心の取組みは住宅都市としての魅力を向上させる。
- (2) 「空き家」だけでなく、「空き地」や「所有者が不明な土地」も問題になっている。これらの解決策を全国に発信できる川西市になって欲しい。

【4班 文化・歴史の活かし方】

- (1) 川西市の文化や歴史について、もっと多くの住民に知ってもらいたい。さらに、源氏の歴史から我々が何を学び、それを今のまちづくりにどのように活かすのが大事。川西に行くと「源氏を感じる」と言われるようになればいいと思う。
- (2) 源氏まつりに多くの人を呼ぶのは大事だが、まつりがあるから地元に帰ってくるというような地域のまつりとして浸透させ、その後に大々的な行事に発展させるという考えもある。

【5班 生きがいと地域交流】

- (1) 行政が自治会の必要性を説くのではなく、自治会の意義や必要性を住民自らが考える視点が重要である。
- (2) 様々なタイプの自治会の成功例を紹介したらどうか。自治会の運営は多様性があって良いと考える。
- (3) 「生きがい」は個人的なものであり、総合戦略の議論になじまないのでは。表現を工夫できないか。